

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース											
デッサン3											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	木須悠太			実務経験	有	職種	デッサン講師				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。											
到達目標											
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解します。また、描写技術と同時にものを見る力(観察眼、審美眼)を養うことで創作活動の基礎を強化することを目的とします。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になります。一つの課題が終わるごとに課題作品を講評します。他者の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性を発見できます。描く速度を向上させるために各授業毎に人物クロッキーを5分x2回実施します。											
成績評価方法											
課題作品の評価を主体とします。また、授業参加度や授業態度によって評価します。											
履修上の注意											
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること。授業理解度・課題制作の進捗状況により授業内容を入れ替えることがあります。											
教科書教材											
クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示します。											
回数	授業計画										
第1回	【ガイダンス、人物スケッチ(1)】空間のパースを意識して描写する										
第2回	【人物スケッチ(2)】複数の写真を資料として活用して作品を制作する										
第3回	【自画像デッサン(1)】面の傾きと明暗の関係を理解する										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース	
デッサン3	
第4回	【自画像デッサン(2)】明暗や質感を鉛筆のトーンで表現する
第5回	【静物デッサン(袋と木材1)】 トーン幅を広げることを目指す
第6回	【静物デッサン(袋と木材2)】 膨らみや密度を意識して描写する
第7回	【静物デッサン(袋と木材3)】 有機的な形態を捉えて描写する
第8回	【人物クロッキー】 線や色面についての理解を深める
第9回	【静物スケッチ】 墨汁を使った描写を行い、明暗と立体の関係についての理解を深める
第10回	【石膏像デッサン(1)】 基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第11回	【石膏像デッサン(2)】 量感、明度などに注意して制作する
第12回	【石膏像デッサン(3)】 質感の感じられる描写を目指す
第13回	【細密描写(1)】 短いハッチングと点描による描写を習得する
第14回	【細密描写(2)】 点や線の集積で明暗や面を表現する
第15回	【フォトスケッチ(2)】 動物の写真を見ながら骨格や構造に注意しながら描く